

馬から始まる 高崎の鉄道ものがたり



上野鉄道(現上信電鉄)による鐺川鉄橋工事風景 (明治44年)

令和8年 10/20 火

▶▶▶▶▶ 12/20 日

開館時間：午前9時～午後4時

休館日：月曜日、祝日の翌日

入館無料

明治初期、政府による鉄道構想が難航するなか、高崎の近代交通は明治5年(1872)の郵便馬車から始まりました。明治17年(1884)に高崎線が全線開通し、その後、高崎駅に信越本線、上越線が乗り入れ、上越・信越方面の分岐点としての機能を果たしてきました。また、昭和57年(1982)に上越新幹線、平成9年(1997)に長野新幹線が開業し、平成27年(2015)には金沢まで延伸され北陸新幹線となり、高崎市は北陸・上信越を結ぶ中心都市としてその存在感を高めてきました。

更に、「豊岡だるま駅」(下豊岡町)の開業を控えるなど、高崎を取り巻く鉄道網が今後も大きく発展していくことが予想されます。

本展では、高崎の鉄道と沿線の歩みを紹介し、交通の要衝として歩んできた街の歴史を振り返ります。